



奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉

奈良・人と自然の会

第5回 通常総会 ご案内



新緑の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃は「奈良・人と自然の会」の活動にご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
平成18年度 第5回通常総会を下記の要領で開催致します。ご多用とは存じますが会員皆様のご出席をお願いいたします。

今回は総会に先立ち、奈良市防災センターのご指導で野外活動には必須の普通救命講習会を開催し、応急手当や最近話題のAED（自動体外式除細動器：電気ショックによる心臓蘇生法）の操作等をマスターして講習修了証の発行をいただく予定です。ぜひとものご参加をお待ち致しております。

記

日時：平成18年5月14日(日) 12時集合

会場：奈良市防災センター TEL：0742-35-1106
奈良市八条5丁目404-1

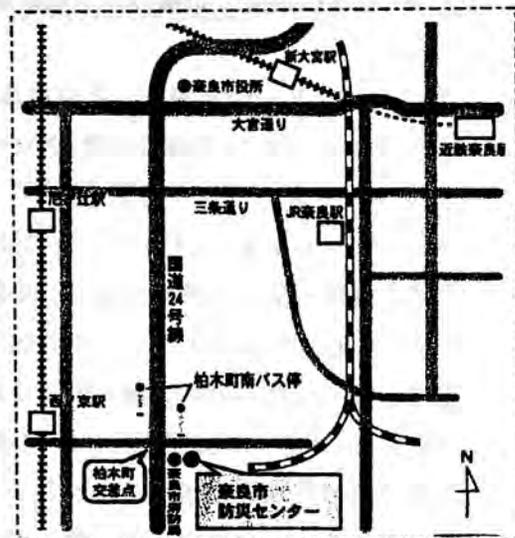
会次第

- * 普通救命講習会 12:30~15:30
- * 平成18年度通常総会 15:30~16:30

交通：

奈良交通バス 近鉄奈良駅10番乗場
「恋い窪町(コインクボマチ)」行き

Am. 11時：10分 or 38分発
(所用時間15分)
「柏木町南」下車すぐ。





今、アジアの大国、中華人民共和国の去就が政治・経済・軍事そして環境問題に注目が集まり、内外に火種が顕在化しつつある。

日中の関係においても、靖国問題が象徴する歴史認識の乖離が、「政冷経熱」の様相を呈し、尖閣諸島のエネルギー源の利権をめくり、譲らぬ軋轢が続く。

このレポートは、私のドキュメンタリーなものでは無いが、研究機関、学識者、叢書メディアの報道記事を断片的に纏めたものだが、中国の報道規制により充分で無い事をお断りしておきたい。

歪な経済至上主義。この十年 GDP 年率 8%~10%の経済成長を生み、「東アジアの奇跡」とも言われたが、ここに来て内的には公害問題が、農村と都市部の間には救い難い格差問題が生じ、外的にはCO2の放散、越境環境問題が表面化しつつある。

- ① 一世代に圧縮した形での特異な工業化と歪な産業構造の変貌。
- ② 膨大な人口のアジア的農村社会の疲弊化と崩壊。爆発的都市化の現出。
- ③ 大量消費型の生活様式の浸透。資源浪費型の大量廃棄型の社会の拡大。

現実の中国社会の断面を要約すればこんな事でしょうか。日本の30年代の公害社会、高度成長期からバブル期に至る姿が想起されるが、ここ数年の出来事であり、地球環境問題が問われる国際情勢の中で、隣国の立場として技術援助(NPOの活動があるが)はもとより黙視できない環境問題(有害物質を含む黄砂、酸性雨(雪)、ごみの漂着)に、発言力を強める事も必要ではないか。

具体的事例を列記し、考察してみたい。

1 毒菜(ドッチョイ)が押し寄せる

我々の生活に直結する問題から例示してみよう。

01'年。中国の調査で市場のの半数が毒菜と報道される。残留農薬と禁止農薬に汚染の事実が発覚。

- ◆ ブロッコリー⇒有機リン系の農薬 メタミドホス
- ◆ 冷凍ホウレンソウ⇒殺虫剤 クロルピリオス
- ◆ キヌサヤエンドウ⇒農薬違反
- ◆ トマト・キュウリ・キャベツ⇒81検体から47%基準値違反

農薬の誤用・乱用と農地の荒廃。年間10万件の農薬中毒事件発生。カエルや魚が姿を消し、野鳥や家畜が死に、中国版『沈黙の春』の様相を呈す。

因に、03'年。日本の野菜輸入実績は253万トン(90'年比2.3倍増)うち中国産52%。

(90'年比4.9倍)。外国産野菜は国内流通の20%を占め、中国産はうち10%を占める。

日本の検疫体制には信頼を寄せるものの、いつ中毒事件が起きても不思議ではない危険性がある。私の家内には「中国産不買」を厳しく伝えている。

明神山を訪ねる路

2006. 3. 23

シニア自然大学の修了を前に進路説明会で「ネイチャー奈良」のブースで頂いたパンフの豊富な内容に驚いた。行きたい時、行きたい場所だけの参加という我儘が許されるなら 入会したいと思った。諸所の事情もあり、あまり自由の利かない体なので。。。。。

このたび、はからずもH氏のお声掛かりで参加することができました。歩くことが好き、とくに送迎峠の大阪への道には吸い込まれそうな感じがしました。

また、今年はまだ目にするには出来ないと思って諦めていた「アオモジ」の花に出会うこともでき感激した。

明神山は、昔旗振り場であったと案内板にあった。堂島の米相場を伝達するために旗のふり具合で相場が分るようになっていた。このような旗振り場は15キロメートル間隔で設けられたとの事。従って展望の良い場所である。須磨の旗振り山、茨木市の竜王山など。。。。

今般、ビジターで参加させて頂き大きな収穫を得ることができた。

講座生のころ、よく耳にした「目から鱗」の言葉に久々に出会った1日であった。

平山 千代恵

【実施記録】

近畿自然歩道—まほろばの路「水の神様が奉られる明神山を訪ねる路」

日時：3月23日(木) 曇りのち晴 気温15℃

参加者：20名(男子9名、女子11名)

行程：JR王寺駅—明神4丁目—登山口大鳥居—送迎峠—明神山頂上— 昼食・頂上回遊
(8キロ) 大鳥居—永福寺—白山姫神社・尼寺北鹿寺—葛下川遊歩道—達磨寺—JR王寺駅

総括

- ・朝からの小雨は出発時に上がったが、天気は「くもり」、暖かい。山にはガスがかり、眺望が心配だ。
- ・参加者は20名と先ずは盛況。バスにて明神4丁目まで行き、ここで挨拶、コースの説明をして出発。
- ・大鳥居より1.8Kの緩やかな上り、雑木林に囲まれた登山道はもう春。早春の花、野鳥を探しながら登る。オオバヤシャブシ、ハクモクレン、ヒサカキ、ニフトコ、ダンコウバイ、シジュウガラ、ヤマガラ、ウグイス、アオジ、ヒヨドリ
- ・中ほどの分岐点、送迎(ひるめ)峠は斑鳩から難波への古道。その昔ふもとの畠田集落の人が聖徳太子をここで見送り、掃りを出迎えたという。
- ・頂上着11:20 青空も見えるが時には氷雨も混じり、売り物の360度パノラマは期待はずれ、皆残念がる。山頂の自然公園はよく整備されている。いまアオモジの花が満開で、目を楽ませしてくれる。ここで昼食。
- ・12:10 雨雲に追われるように下山。大鳥居着12:40。永福寺(行基創建)では松香石の石塔(鎌倉時代)
- ・13時から晴れる。白山姫神社から葛下川の遊歩道へ。春の草花、名残りの水鳥を愛でながらのんびり歩く。シロバナタンポポ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ツクシ、セイヨウカラシナ、ヒバリ、ケリ、コガモカワウ、カルガモ、川の水はかなり汚れているが、クサガメ、コイがウジャウジャ。彼らの環境適応力に感心する。
- ・臨済宗の名刹「達磨寺」の庭園を拝観。禅寺らしい簡素な趣。日本書紀にも出てくる飢人伝説と聖徳太子のくだりは寺の創建にまつわる説話。また寺域内に3基の古墳があり、古の歴史と畠田集落の太子信仰の深さが窺われ、何かと想像力の刺激される場所だった。
- ・王寺町役場向かいの大和川岸の公園がゴール地点。締めくくりの挨拶。16時解散。

天気はイマイチだったが、里山、古道、遺跡、伝説、寺院と「春の自然と歴史のロマン」を楽しんだ一日でした。
(担当 古川 祐司)

藤田きよみ

三月の終わりは、寒波で冬に逆戻りをしたような日でした。しかし四月一日は、暖かく晴れ木津の里は、コブシ、レンギョウ、ミズキ、ユキヤナギ、ヤマザクラ、ウメなどが咲き、足元ではオオイヌフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、タンポポなどが色を競っていました。すこし霞のたなびいた、のどかな里は、大仏鉄道の赤い汽車がシュシュポッポと走っている明治の時も同じような景色だったのでは、と思わせる雰囲気がありました。竹のメス、オスの見分け方、モウソウダケとマダケ、ハチクの見分け方を学びながら、鹿背山城址に着きました。見晴らしの良い山上の城跡は、過剰な整備がされていなく、土塁や堀切溝の遺構が中世の山城の様子をしのばせてくれます。城山では赤松にオオタカが営巣するのだそうです。城址のふもとの西念寺では、和尚様のご配慮でご本尊、薬師如来坐像を拝顔できました。境内で新会員歓迎にビールで乾杯をし、お昼ご飯を頂きました。来る道で出題された①田圃の中の煙突は何の役割をしているのでしょうか。②竹の節はいくつあるのでしょうか。③鹿背山城址のオオタカは城山の赤松に営巣するのはなぜか。のクイズの正解が発表されました。正解者にはビールのご褒美が出るそうでしたが、皆様、果たしていかがでしたか？。昼からは大仏鉄道に沿って廃線レールで作られた橋を通り、トンネルのレンガ積みや、アバットの石積みの見事さに感心し、JR関西線に平行しているアバットや今では道路に使われている廃線などを見ながら、加茂に向かって進みました。また柿の果樹園にツクシ畑のようにツクシが群生している所がありました。みなそれぞれに今晚のおかずを頂きました。白髭神社でお参りをして、SL展示場でC57SLと記念写真に全員収まり、ランプ小屋を横目に加茂に着きました。のどかな大仏鉄道廃線の観察会でした。

川井様、大石様お世話有り難うございました。



「奈良・人と自然の会」4月例会 幻の大仏鉄道遺構を訪ねて(報告)

日時 : 4月1日 午前9:50~午後3:15

行程 : JR木津~西念寺~鹿背山城址~昼食~鉄道遺構めぐり~JR加茂(約8km)

担当 : 川井、大石、サポート弓場、寺田

参加者 : 市村、小田夫妻、川井、小嶺、小山、篠原、寺田、豊島、豊田、西、野田、林、福谷、藤田、宮澤、八尋、弓場、吉村篤子、吉村さつき、大石夫妻(新入会者) 岩田、守口、柳原、(ピジター)村田、 合計26名

感想 春は名をみの風の寒さや、桜前線未だ訪れず、嗚呼荒城の夢の跡、終日曇天春霞、心キウキウ 鳥の多さに驚かされぬ。素封家の多い家屋敷か(峠郷から鹿背山郷)巨木多し。珍しい姓、「馬」を見出す里山風景であった。見られた鳥「ツバメ、スズメ、モズ、ホオジロ、カワラヒワ、メジロ、ウグイス、アオゲラ、コゲラ、エナガ、セグロセキレイ、アオジ、ツグミ、ヒヨドリ、ツミ、キジバト、ハシボソカラス」

文責 ; 大石門三

自然俳句欄

さくらさくら桜のなかの道化かな 川井 秀夫

今年もあちこちで観桜を楽しみました。何故か日本人の心を浮き浮きさせます。
輪のなかには、道化師がいて我を忘れた酔狂の姿をよく見かけます。
華やかさと落花の哀れを投影してみました。

第 12 回近畿自然歩道・まほろばの路

信貴山を巡る路

守口京子

冷たい雨の中のハイキングだったが、参加した 6 名は春爛漫の花と新緑の中で、古代への想いに浸ることができた。

阿部さんの案内で初めて行った龍田大社は手入れの行き届いた立派な神社だった。神官の方のお話によれば、ここは風の神様で 2100 年前にできたそうだ。ということは紀元前ではないか！ 2 組のお宮参りの家族に出会った。なぜか赤ちゃんは 3 人。

坂を上っていくと見晴らしのよい所に出た。弓場さんに山と川、町の説明をしてもらった。話は古代へと遡り、大阪が海だった話になった。私の想像は古代のワニの泳ぐころまで進んで行った。行き過ぎたか？ ケーブル跡の坂は当然ながらまっすぐで、緑と花のトンネルで素晴らしいながめ。花が麓から咲き上っていく様子がわかる。桜の花びらを踏みながら歩いた。

信貴山、朝護孫子寺は聖徳太子が寅の年、寅の日、寅の刻に物部討伐の戦勝祈願をしたことが始まりだそうだ。祭ってあった大木は榎、樹齢 1500 年。これも何と昔のこと。聖徳太子は鎧を着て馬に乗り、優雅に笛を吹いていた。さすがにえらい人はすることが違う。寅の像の新しいのや古いのや、派手なのや地味なのがたくさんあって見ていて楽しい。みんなでお参りをした後、岩田さんは「これで阪神優勝する！」と言った。果たしてご利益はあるか？

展望台は満開の桜に囲まれていた。赤い蕾はカイドウザクラと林さんに教えてもらった。おまけにツツジもいっぱい咲いていた。昼食後淋しい道を奥の院へ行った。ここにも大きくて古そうな木があった。皆で葉っぱを見て何だろうと言っていたが、遠くから眺めて林さんが「スタジイやね。」と言った。

村の景色を見ながら山を降りて行くと、菊の畑、ブドウの温室。露地栽培はまだ幹と枝だけなのに温室ではもう緑の小さい実になっていた。福谷さんがヤシャブシの実を捜していたら、1 本だけ道端にその木があった。でも男性群は「危ないから無理」と言ってさっさと通り過ぎて行った。仕方なく後ろ髪引かれる思いで坂を下った。

最後の驚きは烏土山古墳だ。立派な前方後円墳で入口から見ると大きな石が積み重ねてあって広い玄室がある。さぞかし力のある豪族だったのだろう。蘇我馬子と同じくらいだと思ったので、勝手に平群寅子と名付けた。そして竜田川駅にて解散、満足だった。

「信貴山を巡る路」報告

日時：18年4月15日 小雨 やや寒し。 参加7名

コース：JR三郷駅(Am10.10 出発)→龍田大社→城山台住宅を通り→信貴山ケーブル跡→展望台→信貴山→奥の院→楳原(フンハラ)の集落→烏土塚古墳→近鉄龍田川駅(pm3.10)

花と言えば「さくら」…これが日本人の感覚なのでしょう。花びらが丁寧に行く先々に打ちしかれ、それでもまだこれから蕾を膨らませるものもある といった状態で実に見事でした。 小雨なので 傘を差したり閉じたり位で助かった。気象庁の知恵者は、クロウソクのソメイヨシノを全国に配し、桜前線情報を出している。気温10度の暖かさで開花しおよそ時速20~25kmで北上するそう。桜の自然種は、10種余 それが自然に あるいは人為的に変種や品種ができ その数は300もあると言われている。そうそうウワミズサクラが果穂をしつかり突き出していた。ミツバツツジが満開で彩を添え、樹上の桜、低木のツツジとても印象的であった。ムラサキケマン、タツナミソウ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザなど良く似た花も咲き誇っていた。道端のミツバアケビの特徴のある花やいろんなスマイレも歓迎してくれた。シロモジは既に花を落としていた。 (担当) 阿部 和生



スギ花粉症に「つくし」が効く!?



日本大学が、スギ花粉症には「つくしエキス」が効果的として、エキスを混ぜたアメを開発した。3年間で100人以上の試食調査を経て商品化、徳島県の製薬会社が今春発売する。しかし、つくしエキスがなぜ症状を抑えるのかは、日大の研究機関でも突き止められていない。新商品の名前は「つくし錠」(20粒入り1箱2千円) 写真非で、漢方薬などの製薬会社「池田薬草」(徳島県池田町)が発売する。技術は日大が開発し、特許も申請中だ。

日大がアメ開発 徳島の製薬会社発売へ

きっかけは日大文理学部の島方浩一学部長(62)が趣味にしている山菜採り。自身が重度の花 pollen 症だった島方氏が98年春、採ってきたつくしを調理して食べたところ、症状が止まったという。00年に薬学部が研究に乗り出し、抽出したエキスを抗アレルギー物質があることは確認した。ただ、物質と即効性との因果関係は分からない、という。日大は、池田薬草と協力してエキスを注入したアメの試作品を製造。03年から05年まで大学関係者らに試食してもらった。その結果、全体の約6割の人に症状の改善がみられた。多くがなめた直後に効果が表れ、15分から数時間持続した。花粉症が治った人もいた。



細心にして大胆な水鳥 **バン**

小田 久美子

五月中旬、アシなどの生い茂る沼や池、川等の湿地に真っ黒い幼羽に包まれた、お世辞にも可愛いとは云いがたいヒナが5~6羽、親の後を泳いでいます。でも、しぐさなどはやっぱり可愛い……。親は、額まで真っ赤な嘴で先端は黄色、地味ではあるが黄緑色のがっしりした長い脚、お尻と体側



の白斑がオシャレ。水かきがないため水に入ると頭を前後に大きく振ってぎこちない泳ぎ方をするが、ハスなどの水草の上を忍者のようにスイスイと移動し、岸にあがってニワトリのように自由に歩くことが出来、逃げる時も飛ばずに走って水草の中に潜り、なかなかゆっくり姿を見ることが出来ない鳥です。夏には2回めの子育てが始まり、前に生まれたきょうだいヘルパーをしているのを見たことがあります。その時のヘルパーさんは、まだ色が少し淡いですがもう一人前に見えます。本来はとても警戒心の強い鳥ですが、都会の公園などではエサを投げる人に（良くないことですが）近寄って来ますし、人の目を気にせず子育てもするのはカイツブリ、カルガモと同様の都市鳥になりつつある鳥ですね。

地域情報

- ★ 4/9 近畿自然歩道の下見の時平群でヒレンジャクを4羽見ました。 (阿部)
- ★ 4/18 平群中央公園に北帰行中かと思われるシメが30羽いました。 (小田)
- ★ [斑鳩]・4/4 竜田川左岸にヒレンジャク18羽 4/20 4羽ました。
 - ・ 4/6 シメが20羽カエデにいました。
 - ・ 4/10 シロハラこの冬2度目確認、極端に少なかったです。
 - ・ 4/16 竜田公園竜田大橋下の桜にニューナイスズメが40羽ほど 4/17 5羽いました。(写真で確認できました) 以前、竜田川左岸竜田観音近くの桜の花の中でズメ大の茶色い鳥がかわいさえずりをしていました。その時は確認できませんでしたが、羽の模様等からニューナイスズメだったようです。
 - ・ 4/24 三室山でアカハラ1羽初見です。(勝田)



【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
 (忍辱山円成寺駐車場)より徒歩10分 11月号地図参照
- 〈集合場所〉 国道369号線
 忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- 〈日時〉 5月 9日(火) 10時20分 第47回
 5月21日(祝) 9時20分 第48回 (終了予定) 午後3時頃
 6月 6日(火) 10時20分 第49回
 6月25日(日) 9時20分 第50回
- 【天候】 午前6時 奈良県北西部に警報が出されている場合は中止いたします
- 〈交通〉 奈良交通バス

	平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]	土・日・祝 [柳生行き]
JR奈良駅⑥番乗り場	近鉄奈良駅④番乗り場	忍辱山円成寺
日祝	8:26	8:29
	9:40	9:43
平日	9:30	9:33
臨時バス	お問い合わせ	奈良交通 ☎0742(20)3100

- 〈持ち物〉 ヘルメット(防災用)、手袋、スバツツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
 ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております
- 《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

- 〈連絡先〉 弓場厚次
 阿部和生
 寺田正博

ショウジョウバカマ群生、ツツジ、等花一杯です。

森林浴、自然観察を楽しんで下さい。作業しなくても結構です。

【行事報告】

4月 5日(火) 雨

参加者 弓場、寺田。 降雨激しく現地にて中止決定。 10時30分

《フィトンチッド》

1930年頃、ロシアのトーキン博士によつて発見され「植物が自分を守るために発する武器」というのが生物学的な考えだそうです。 効用は次のようなものがある。

- ・ やすらぎ：副交感神経の働きが促進されるためにリラックスをもたらす。
- ・ 血圧低下、集中力の増加：ヒノキ材のにおいが血圧を低下させ、集中力を増加させる
- ・ 鎮静作用：スギ、ヒノキなどの匂いには鎮静作用があり、脳血流量を減少させることで鎮静作用をもつといわれる
- ・ 興奮、眠気醒まし：スギ、ヒノキ、モミなどの葉には頭をすっきりさせる興奮作用や眠気を醒ましてくれる作用がある。

落ち着き、α波の増加作用：ヒノキ材の匂いで心身が落ち着く効果がみられ、脳波でα波が増加し、お風呂にヒノキが使われるのには合理性があるといえる。

第13回近畿自然歩道・まほろばの路

(矢田丘陵を越える路)

竜田川から、新緑の中の小径を松尾寺、紫陽花で有名な矢田寺、東明寺をたどり子供の森を通過してバラで有名な霊山寺に到るコースです。

日時・集合場所：5月10日(水) 近鉄・竜田川駅 9:00

交通：<JR利用>「JR王寺駅」で近鉄生駒線王寺駅に乗り換え(8:52)→竜田川駅(8:57) <近鉄利用>生駒駅で生駒線に乗り換え(8:29)→竜田川駅(8:48)

行程：竜田川駅→白石畑→(松尾寺)→矢田寺→子供の森→霊山寺→(近鉄富雄駅)

持ち物：弁当・水筒・雨具・フィールドノート・名札等

担当：勝田 均

5月例会 《蜻蛉の滝から吉野・青根ヶ峰へ》

古く万葉集にも記されている、奇岩が重なる岩から落下する高さ50メートルの水量豊かな蜻蛉の滝から、吉野青根が峰へ。大峰奥がけ道の起点である奥千本から下千本へ桜の吉野山とはまた一味違った風情が楽しめます。

【日時】：5月24日(水)

【集合】：近鉄大和上市駅 9時50分

【交通】：大和西大寺(8:24)・・・榎原神宮駅(9:04)・・・大和上市駅(9:49)

大阪阿部野橋(8:20)・・・大和上市駅(9:49)

湯森温泉杉の湯行きバス(9:55)に乗車します。(時間厳守)

【行程】：西河口→蜻蛉の滝→青根が峰→金峰山寺→蔵王堂→吉野駅

【持物】：弁当、飲み物、観察用具、雨具ほか

【担当】：豊島

〈6月の予定〉

6月度例会 「宇陀・伊那佐山」

本年1月に新しく生まれた宇陀市の中央部に位置する伊那佐山(637m)。古来、日照りが続くと岳登りと称して雨乞いのために山頂へお参りしたと言われ、山路岳とも呼ばれる。八た鳥(ヤタガラス)神社から淀川の源流の一つ、芳野川沿いに山容も美しく眺望の素晴らしい伊那佐山から上井足の高原野菜の里を巡ります。

【日時】：6月4日(日)

【集合】：近鉄大阪線 榎原駅 南口 バス停 午前9時

【交通】：西大寺7:57(急行)8:18八木(乗換)8:34(急行)榎原8:47着

近鉄難波7:47(準急)7:52鶴橋(乗換)7:55(急行)榎原8:47着

* 奈良交通バス 榎原駅 9:15発 大又行きに乗車

【コース】：八た鳥神社…竹橋…山の神…伊那佐山…宇太水分神社…墨坂神社…近鉄榎原駅

【持ち物】：弁当、飲み物、観察用具、雨具など。

【担当】：弓場 厚次

第14回近畿自然歩道・まほろばの路

【コース名】 生駒山眺望の路

【日程】 6月21日(水)

【担当】 境 寛

協力活動 「いこま棚田クラブ」活動ご案内

【5月の取り組み】

向山の整備、草刈り、石垣出し 野菜の為のゾーニング作業 田植え
竹炭釜の試運転…炭焼きに興味の方、経験者の方ご参加ください(縦型で3~4時間)
生駒市主催 生駒山スカイウォークに協力要請 5月20日(土) 宜しく!

- ◇ 作業日…5月7日、8日、21日、22日、 **変則になりますご注意ください!**
- ◇ 集合場所…近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル鳥居口駅西隣
セブンイレブン前 9:00集合(現地まで車で移動約15分)
- ◇ 持ち物…弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴
- ◇ 連絡先…事務局 大寺道代

4月定例幹事会議事録

日時:4月7日 場所:奈良県女性センター 出席:12名 司会:樋口 書記:大石

「報告事項」

- (1) 会員数(4/7):72名 会計報告(3/31)199,762円(前受けした18年度会費と保険料を除くと、26,162円)
- (2) 3月度行事報告:例会、森林整備作業、いこま棚田クラブ;4月会誌参照
- (3) 近畿自然歩道:22名の参加で出発時より霧雨、雪など気温低く360度の展望は見られなかったが、歴史の香り豊かであり、早春の鳥花が見られた。
- (4) はなはなビレッジ受託作業:現地再調査するも条件的に悪く辞退申し入れ了解さる。
- (5) 他:自然俳句欄;会報紙面は会員投稿の参画型が望ましく、今4月号から掲載あり、編集部と連携のもと、様子を見る。

「討議事項」

- (1) 総会開催:要領、分担は5月幹事会にて決定。集合時間を12時に変更。4/7現在40名の返事、内参加は11名。
- (2) 幹事会運営:新体制の6月度幹事会にて討議する。
- (3) 会則修正提案:多少討論ありしも現行会則が網羅しており、会則変更なし。
- (4) アースデー:4/23近鉄橿原線ファミリー公園前の奈良県環境浄化センターで9:00~13:30まで開催。皿スプーン持参でカレー昼食あり。担当樋口:0742-44-7011
- (5) 行事確認:例会;蜻蛉の滝から吉野5/24 宇陀・伊那佐山6/4 まほろばの路;矢田丘陵5/10 生駒山6/21 森林整備作業
- (6) 他:・くろかみやま自然塾;派遣要請(5/28,7/23,8/27,9/24,11/26) ・ロッカー;西奈良(コピー用紙入れで使用) 畝傍(工作道具等入れてはの提案あり次回検討) 生協助成金;5/未申請予定 ・行事での資料配布;会費でまかなうべく参加者からは原則一切徴収しない。

編集担当 :勝田 均

Tel&F

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫